



つなぎ つむぐ

☆☆☆☆☆☆☆☆ 「えべつ型コミュニティ・スクール」

令和8年1月23日

第70号

江別市教育委員会

総務課・学校教育課

教科の重点をもとに小中で系統性・連続性を意識する ～「系統的な指導」で子どもの資質能力を伸ばす～

江別市の小中一貫教育の取組の柱となるのは、「系統的な指導」「一貫した指導」「相乗的・補完的な指導」の3つです。この3本柱に関わる取組については、PDCAサイクルに基づいて改善・充実が図られてきていますが、特に「系統的な指導」については、毎年、教科部会が中心となって各教科の重点指導事項等の検討や年間指導計画等の改訂が行われており、各学校の日常の学習の中で系統性や連続性を意識した指導が進められています。

また、「系統的な指導」の効果をより高めるため、学校教育指導（指導主事訪問）での研究授業参観や事後の研究協議への参加、学習指導案への単元・領域の系統性の明記等、相乗的・補完的な指導の取組も推進され、市内の先生方の組織的で協働的な取組による小中一貫教育の進化・充実が図られています。

第二中学校区の各教科共通課題と具体目標 ※一覧表から抜粋

各教科の共通課題と具体目標

国語	社会	算数	理科	音楽	図工・美術	家庭	体育	外国語
生きた漢字、語彙力の向上	地図、データ、グラフの読取と表現	具体的なイメージがでる図をかくこと	図、表、グラフをかくこと	豊かな表現を目指す	作品に込める思いを表現する	衣食住の定着（特に「衣」）	「柔軟性」を高め、全国平均を超える	書くこと

小学校低学年の具体目標

小学校中学年の具体目標

小学校高学年の具体目標

中学校の具体目標

国語	社会	算数	理科	音楽	図工	家庭
低学年の漢字の定着、多くの語彙に意図的に触れさせる	資料から情報を読み取る都道府県の名前と位置の定着	具体的に図示などを行うメリットを知る	実験・観察結果を可視化して考える	音程や息づかいを工夫して楽しく表現する	作品系「どんな思いを表現したか」	
中学年までの漢字の定着、多くの語彙を意味とともに習得する	資料から情報を読み取る都道府県の名前と位置の定着	具体的に図示などを行い、可視化して考え表現する	実験・観察結果を可視化して考える	音程や息づかいを工夫して楽しく表現する	作品系・設計図（アイデアスケッチ）「どんな思いを表現したか」	
小学校6年間で習う全ての漢字の定着、多くの語彙に触れ、自ら語彙を習得しようとする	資料から必要な情報を読み取る力を身に付ける都道府県と北方領土の名前と位置の定着	具体的に図示などを行い、可視化して考え説明する	実験・観察結果を可視化して考え表現する	音程や強弱を工夫して楽しく表現する	作品系・設計図（アイデアスケッチ）「どんな思いを表現、どのような技法で作成」	手縫い（玉結び・玉止め）の定着
蓄積された語彙を用いて、書くことと同様の思考判断を伴った話し合い活動に生かす	資料を的確に読み取り、表現する力の育成多面的・多角的に話し合い活動に生かす	問題の意図や内容を理解し、図や表にまとめて具体的にイメージする	実験・観察結果を可視化し、規則性や特徴に気づき、表現できる	音程や強弱を工夫しながら、曲の雰囲気を考えて表現する	作品系・設計図（アイデアスケッチ）「どんな思いを表現、どのような技法で作成」	衣食住を中心とした生活の自立に必要な基礎的な理解を深める

第一・第三中学校区の共通重点指導事項等 ※一覧表から抜粋

9年間を見通した系統的な教科指導

中学校区の教科指導の重点の全体像がわかる！（↑↓）

江別市で作成した教科系統表をもとに、小学校と中学校の教員がともに「これからどう学習していくのか」「これまでどう学習してきたのか」9年間の学習のつながりを意識し、以下のことを重点として指導をしていきます。

国語

- 書くことに重点を置いて指導します。
- 自分の考えをわかりやすく伝える力を系統的に指導していきます。
- 「書くこと」の指導においてICTを有効活用します。

算数・数学

- 四則計算（特に分数）に重点を置いて指導します。
- 自分の考えを論理的に表現する力（書く、話すなど）を高める指導をします。

社会

- 北方領土、国名、都道府県名と位置、海洋の名称を学年に応じて指導します。
- 北海道と各都府県の地理的・歴史的条件とそれによってもたらされる特色について系統性を意識して指導します。

理科

- 物理・化学分野では、物質の状態変化、光や音の性質を重点に指導します。
- 小学校と中学校での学習のつながりを意識して、重点的に指導します。

1 中学校入学を目指して・・・（発達段階に応じた理想像）

- 小学校）
低学年 曲想を感じ取って、友達と楽しく歌う
中学年 曲想に相応しい表現を工夫し声を合わせて歌う
高学年 友達の声と調和させて表現を工夫して歌う

野幌中学校区の発達段階に応じた「系統的な指導」の実践記録 ※一覧表から抜粋
中学校区内の実践を ICT で共有・蓄積！

2 中学校3年間で・・・

- 1 学年）
野幌中学校の一員として、校歌を歌う
2 学年）
自信をもって校歌を歌い、後輩の手本となる
3 学年）
誇りをもって校歌を歌い、後輩につなぐ気持ちで歌う

取り組み（内容、成果や課題）

- 野幌石炭小学校の取り組み
【1年生】曲想に合わせて身体表現を取り入れて楽しく歌えるように指導してきた。
【2年生】4月から発声練習に取り組み、曲想をイメージしやすいように身振りや手振をつけて楽しく歌えるように指導してきた。
【3年生】頭声発声を目指して、範唱を聴かせ、音の広がりにつながら歌うように指導した。
【4年生】
【5年生】高音パートと低音パートでペアを作って歌いあい、お互いにアドバイスをしながら歌う練習に取り組んできた。
【6年生】パートごとにリーダーを決め、自分たちの声を聴き合いながら練習に取り組んできた。
東野幌小学校の取り組み
【低学年】歌唱のまえに体操をいれる。歌うためのスイッチを休で。
【中学年】発声の指導を中心に指導してきた。大きさだけでなく曲想を意識した表現を指導した。
【高学年】教科担任制と音楽専門教員による幅広い指導で目標達成を目指した。

・校歌の歌詞を覚える。（フォームで歌詞を覚えているか確認のテストを行った）

・校歌を歌う意味を考えさせる。

・集会等での校歌を歌う場面では、お手本として歌ってもらった。

中学校区の教科指導の全体像がわかる！

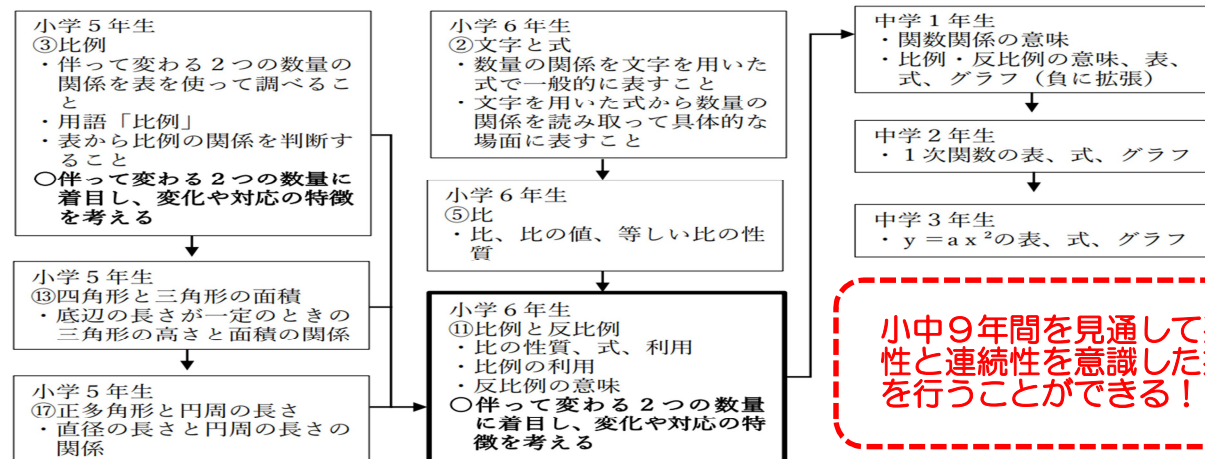


4. 単元の位置づけ（系統表）

学年	学習内容（主なねらい）	概要・学習活動例	次学年へのつながり
小1	ものの分け方の感覚	・「いくつに分ける」「同じ大きさに分ける」活動 ・半分、3 つに分けるなどの具体的操作	「1 つをいくつかに分ける」感覚が、分数の基礎になる
小2	1/2, 1/3 などの理解	・図形（紙やリボンなど）を等分する ・「1/2 は 2 等分の 1 半分」として表す	分数の意味（等分・単位分数）への橋渡し
小3	分数の導入（単位分数、分数の表し方）	・分数の読み方・書き方（1/2, 1/3, 1/4...） ・大きさの比較（同分母） ・帯分数・仮分数は触れる程度	分数を「数」として扱う準備段階
小4	分数を詳しく調べよう（分数の性質の理解と計算の基礎）	・異分母分数の大きさの比較 ・同分母分数の加減 ・分母・分子の関係の理解 ・帯分数・仮分数の表現	分数を数量として自由に扱う力を育成
小5	分数の加減（異分母）・乗除	・通分・約分の考え方 ・整数×分数、分数×整数 ・割合（1/2 倍など）との関連	分数計算の拡張と比例の考えへの発展
小6	分数×分数、÷分数・比と割合	・「分数÷整数」「整数÷分数」などの関係理解 ・比の表し方（1:2 など）と分数の関係	中学数学の「比・比例式」「有理数」へ
中1	有理数（正・負の分数）	・負の分数を含む数直線上の表現 ・分数の加減乗除を一般化	有理数計算の確立
中2	文字式・方程式における分数の利用	・分数係数（1/2x など） ・分数を含む方程式の解法	代数的操作への発展
中3	比例・反比例・関数の中の分数の扱い	・y=1/2x のグラフなど ・分数係数を含む関数・式の理解	高校数学の関数・有理式へ発展

大麻西小4年生（↑）と東野幌小6年生（↓）の算数科学習指導案から系統性に関する記述を抜粋

（4）本単元の学習の関連と発展



小中9年間を見通して系統性と連続性を意識した指導を行うことができる！！！！